



食事は海を眺める館内のダイニング[安坐(あくら)]で。「新鮮、あつあつ、つくりたての旬のごちそうをテーマに、淡路島産の食材を満喫いただけます」と岡本支配人。何よりの楽しみは、瀬戸内海の新鮮魚介! 定番の花季会席では、タイや淡路玉ネギを蒸し焼きにした島の名物・宝楽焼(写真右上)が大好評。その他の写真は、夏から9月頃まで登場する(鯉づくし会席)。旬菜の八寸、お造り、沼島産ハモすき鍋、ハモと旬菜の天ぷら、ハモの南蛮漬け・吸い物、寿司と多彩な料理が。季節のデザート付き。



△洲本市小路谷1053-16 ☎0799-22-0080
<http://www.awajihanagoyomi.com/>
 チェックイン午後3時/アウト午前11時 1泊2食付き1人16,200円~(鯉づくし会席プランは19,440円~。税・サ込み、入湯税150円要) ©30台 道案内/電車→JR神戸線舞子駅から高速バス、洲本バスセンター下車。送迎バスあり 車→神戸淡路鳴門自動車道洲本ICから国道28号線で東へ約15分

色浴衣を着て、湯めぐり。



隣接するグループホテルの湯めぐりは、個性が異なる5つの湯処を、余さず体験したくなる。左は淡路島の棚田をイメージして3段の湯船を設けた[スパテラス水月]の(淡路棚田の湯)。右の[湯賣閣 天宮の雫]では海と空と温泉が一体となったパノラマ風景が壮大。

まずはフロントから眺める紀淡海峡に心を奪われる(下)。客室の窓からも、一枚の絵画のような海が右。



出かけたくない?



のんびり夏の宿。

兵庫の夏。リゾート気分で泊まりがけを楽しみたい、海や山を感じる宿へ!

うれしいね、橋が900円!

2014年4月からの高速道路料金改正で、明石海峡大橋・垂水IC~淡路IC間の通行料が大幅値下げ。ETC利用が普通車で片道900円になり、淡路島がぐっと近くなった。夏のお出かけに!



渚の莊花季

なまきのしよつはなまきよま 洲本市

回廊のような空間のエントランスを抜けると、出迎えてくれるのはハットするほど見事なオーシャンビュー! 淡路島の東海岸に位置する洲本温泉「渚の莊花季」は、ホテルニューアワジグループの宿。広々とした和モダンの館内に、ゆつたりと28室が設えられたぜいたくな空間。「隣接するグループホテルは4つ。海辺の回廊でつながった、温泉施設をすべて利用できますよ」と支配人の岡本昌宏さんのうれしい言葉。部屋からの見事な景色はもろろん、個性豊かな温泉を楽しみながらゆったりとくつろぎたい。



「小さな宿だからこそできる、1人1人心のこもったおもてなしを心掛けています」と岡本支配人(左)。

※料金は5月末現在です。サービス料(サ料)・税が別途かかる場合があります。詳しくは各宿のホームページなどでご確認ください。

撮影/青木崇 沖本明 取材文/伊藤順子 杉田裕路子 野上千知子 牧野しのぶ



近代化遺産の歴史的建築物。吹き抜けの1階にある街灯が旅気分を盛り上げる。お菓子を買いにきたり、ランチやお茶を。

豊岡1925 とよおかいちきゅうにいごほ 豊岡市

多くの人が出会った駅舎をイメージし、昭和9年築の銀行をリノベーションした5室のホテル。クラシカルな趣の館内で過ごす昭和にタイムスリップした気分になる。菓子の祖を祀る中嶋神社がある（お菓子の町・豊岡）にちなみ、1階では地元や全国の人気スイーツを販売するほか、レトロなバーラーも。時空の旅を楽しみたい。



ホテル名由来の1925年は北但大震災が起こり、豊岡が生まれ変わった年。各客室で間取りが異なり、扉や家具など細部にこだわって設計。朝食は地元ベーカリーから届くトーストが評判。大阪・北新地でバーを営んでいた大蔵さんによる地階バーも素敵。



▷豊岡市中央町11-22 ☎0796-26-1925
チェックイン午後3時/アウト午前10時 1泊朝食付き1人8,640円～(税・サ込み) 第1木曜休 @8台 道案内/電車→JR山陰本線豊岡駅から東へ徒歩約5分 車→北近畿豊岡自動車道八鹿氷ノ山ICから国道312号線を北へ約50分



夕食の最初は花籠盛りの前菜。ウニをのせた湯葉豆腐、炙り締めサバのにぎり寿司など。右下は浜坂産ホテルイカのしゃぶしゃぶ(夏は白イカに)、黒毛和牛のタケノコの挟み焼き。「季節感とヘルシーさを大切に料理を」と奥村料理長。



懐かしさを残した、新しいお宿。



浴衣は男女ともおしゃれなデザインが好評。湯上がりに紅茶やハーブティー、緑茶など4種類のお茶でノドを潤せるサービスも楽しみ。



ナチュラルな色で統一された、和モダンな客室。ベッドは広々として寝心地抜群。露天風呂(右写真)付きの部屋は2室。



▷美方郡新温泉町湯1610 ☎0796-92-1101
<http://www.yukemuri.co.jp> チェックイン午後3時/アウト午前10時 1泊2食付き1人13,500円～(税・サ込み。入湯税150円要) 不定休あり @50台 道案内/電車→山陰本線浜坂駅から全但バス、薬師湯下車すぐ 車→北近畿豊岡自動車道八鹿氷ノ山ICから国道9号線を北西へ約45分



約1,200年前、慈覚大師が開湯したと伝わる湯村温泉。泉質の良さと豊富な湯量で湯治場として栄えた。山を背に立つ39室の宿。

湯村の温泉街を流れる春來川の中心、98度の源泉が湧き出る観光名所「荒湯」から歩いてすぐ。築40年の宿が昨夏リニューアルし、旅館の温もりとホテルの快適さを持つ宿に生まれ変わった。宿に到着後、ロビーでいただくのがウエルカムティー。専属のティープロデューサーが厳選した紅茶のもてなしに心が和む。(美人の湯)と名高く、肌がすべすべに潤う温泉で疲れを癒やした後はお待ちかねの夕食を。若き奥村料理長が腕をふるう料理は、朝夕で地元産などの野菜を40種以上使い、香住や浜坂漁港で水揚げした魚介をふんだんに。器や盛り付けにも工夫が凝らされ、女性の心をくすぐる内容だ。但馬の食と温泉を心ゆくまで楽しみ、日常を忘れて羽根を伸ばしたい。



但馬の宿へ。



但馬の伝統工芸・豊岡紀柳(きりゅう)細工によるオリジナルの照明。各階でデザインが異なるのもおもしろい。

ウエルカムティーとラスクに旅の疲れも吹き飛ばそう。夕食の名物のひとつは野菜とカニの蒸籠蒸し。新顔野菜も多く、食べる楽しみが尽きない。肌に優しい温泉は何度も入りたい気持ち良さ。



立ち寄りはこちら…



[山陰海岸ジオパーク]は約2,000年前の地層などが織りなす変化に富む海岸美が魅力。巨岩奇岩も多く、カエルの後ろ姿に似たユーモラスな「かえる島」(上)は「失ったものがかえる」祈願岩として人気。日本海のダイナミックな景観が一望できる[大引の鼻展望所](中)にも歩いて行こう。宿から徒歩15分程。



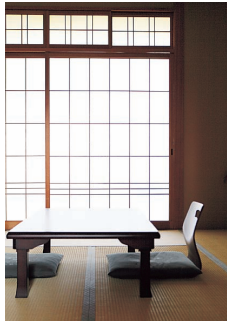
迫力の日本海とジオパークが、目の前!



3階ロビーからの眺め。晴れ渡る空の色を映して青々と広がる海に感激! ちごんまりとした宿だが、今子浦の雄大な自然と一体化したような開放感が味わえるのもリピーターが多い秘訣。



夕食の「おまかせ会席」より。紅ガニ、白エビは蒸し焼きにすると甘みが際立つ。但馬牛は陶板焼きで。このほか、香住の夏の風物詩が活イカの姿取り。食感コリコリの「活イカ会席」は3日前までに要予約。部屋は18室で和室中心。



ファミリーイン 今子浦

日本海を見下ろす丘の上に建つ町立の国民宿舎。ロビーやレストランからも山陰海岸ジオパークの絶景が広がり、夏は海水浴に訪れるファミリー層でにぎわう。自慢の料理は香住・柴山漁港で水揚げされた新鮮な海の幸が主役。甘くてみずみずしい紅ガニ、白エビなどとれたての味覚を。夕暮れ時、「日本夕陽百選の宿」ならではの黄金色に輝く夕景の美しさが堪能できるのも、景勝地に泊まる醍醐味。



▷美方郡香美町香住区境548
☎0796-36-3553
<http://www.imagoura.com/>
チェックイン午後3時/アウト午前10時 1泊2食付き1人8,500円(税・サ込み) 不定休 ◎20台 道案内/電車→JR山陰本線香住駅から送迎あり 車→北近畿豊岡自動車道八鹿氷ノ山ICから国道312号線~国道178号線で香住方面へ。県道11号線で今子浦方面へ。ICから北西へ約1時間40分



美しい建物から眺める、パノラマビュー。

いま行きたい!
**公共の宿、
保養の宿。**
自然豊かな国立公園などに建てられた国民宿舎。企業の保養所や研修施設を一般にも開放する保養の宿。そんな公共の宿泊施設は、こだわりの景観やロケーション、地元食材のごちそうが楽しめ、しかもお手頃価格がうれしい注目の宿だ。家族や友人同士で気軽に夏の旅を楽しんでみて!

やっぱり、 海辺の宿。

TOTOシーウインド淡路

淡路市
大阪湾を見下ろす山の地形に沿って建てられた、海に浮かぶようなリゾートハウスは、建築家・安藤忠雄氏が企業の保養所として設計。「より自然を感じられるように」と客室や浴室からは山の木々が、ロビーからは海が望める造り。眺め飽きないパノラマビューは、少し早起きすれば朝日に染まる泊まりがけならではの絶景も。時間の流れとともに、自然に溶け込む建築美をじっくりと堪能して。



海と空に抱かれた印象的なコンクリート造りの建物。屋外に飛び出すようにつくられたテラスやプール、朝焼けを眺められる大浴場など、至るところで自然との一体感を感じられる。夕食は季節の野菜や鮮魚を使った、盛り付けも美しい会席料理。



リニューアルした遊び場も!
立ち寄りはこちら…

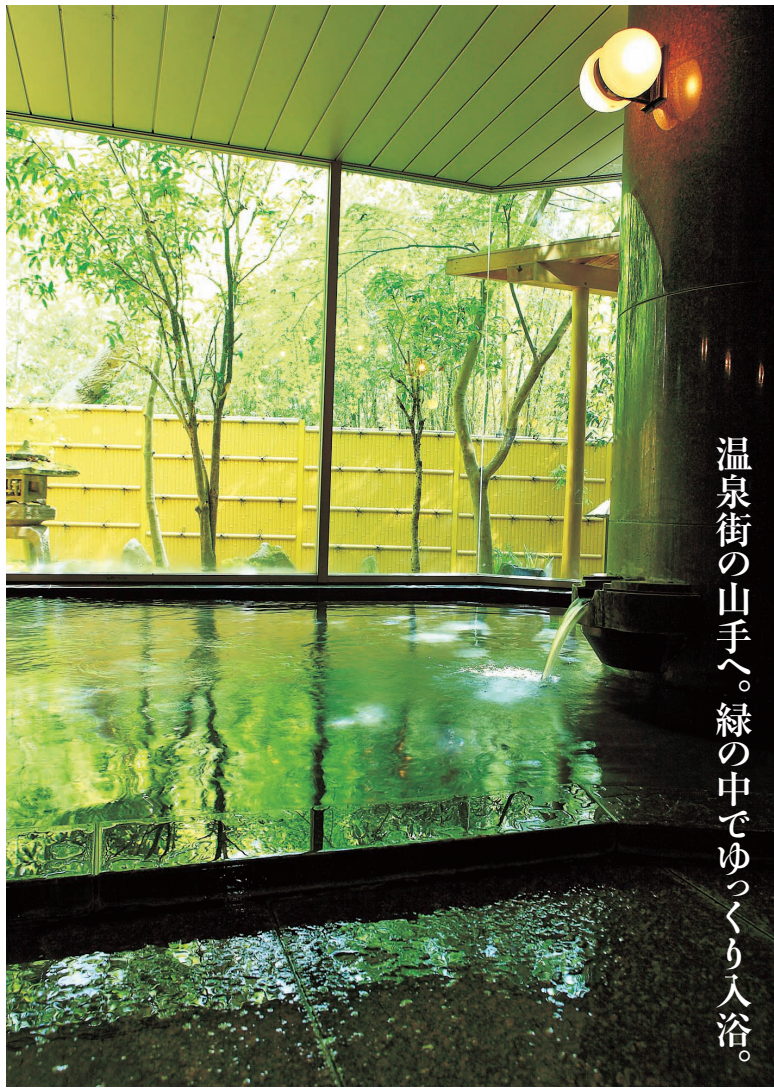
昨年リニューアルしたばかりの淡路ワールドパーク[ONOKORO]へは、車で10分。空中を滑走する「ジップラインアドベンチャー」、(3階建て立体迷路)など大人もワクワクするアトラクションが充実。[ONOKORO] ☎0799-62-1192 午前9時30分~午後5時(延長あり) 入園料/大人800円、4歳~小学生400円 無休 ◎1,000台



▷淡路市里573-14 ☎0799-62-7105
<http://www.seawind-awaji.jp/>
チェックイン午後3時/アウト午前10時30分
1泊2食付き1人10,500円~(税・サ込み) 不定休
◎15台 道案内/電車→JR神戸線舞子駅から高速バス、津名港バスターミナル下車。タクシーに乗り換え約15分 車→神戸淡路鳴門自動車道津名一宮ICから県道88号線~国道28号線で南東へ約20分



夕食の会席料理は、細工を凝らした八寸や神戸牛のしゃぶしゃぶ、天ぷらなど、季節のあしらいを添えて。朝食のバイキングには、福岡名産のもち麦麺といった地産地消の料理も登場する。



温泉街の山手へ。緑の中でゆっくり入浴。

館内の大浴場では、有馬の名湯として知られるラジウム泉が楽しめる。湯船に浸れば、大きな窓の向こうに広がる自然林の緑がお湯に映り込み、温泉情緒も満点。屋外には東屋風の露天風呂もあり。



▷神戸市北區有馬町1751
☎078-903-3800
<http://www.zuihouen.net/>
チェックイン午後4時/アウト午前10時 1泊2食付き1人12,000円～(税・サ込み) 不定休(7/9、9/3・16・17、10/14・15休) ③30台 道案内/電車→神戸電鉄有馬線有馬温泉駅からタクシーで約5分車→阪神高速北神戸線有馬口ICから県道51号線で東へ約10分



瑞宝園は公共の宿のため宿泊料も有馬の他の宿に比べてかなりリーズナブル。客室は和室が中心ながら、洋室やシングルルームも完備。



公共の宿 瑞宝園 ずいほうえん 北区

有馬の中でも高台にあるため、のんびりとした風情が楽しめる温泉宿。「瑞宝寺公園も近く、自然に囲まれた心地よい静けさがこの宿の魅力。ゆっくり過ごしたいお客様に好評です」と支配人の都志孝さん。ここでのお楽しみは、有馬自慢の湯はもちろん、季節感あふれる会席料理。神戸牛や近海の鮮魚、地野菜といった旬の食材を使い、一皿ごとに四季を映した演出でもてなしてくれる。



立ち寄りはこちら…

温泉街の湯めぐり、町遊びも。

金泉・銀泉の2種の湯の日帰りめぐりや、名物の食べ歩きが楽しい有馬。鉄分を多く含む特徴的な赤褐色をした金泉は【金の湯】で体感。【金の湯】☎078-904-0680 午前8時～午後9時30分入館 入浴は大人650円、小学生340円(足湯は無料) 第2・4火曜(祝日の場合翌日)、1/1休



立ち寄りはこちら…

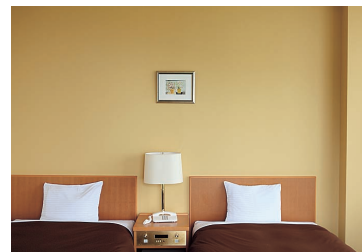
昼も夜も、六甲山を満喫。
六甲山、摩耶山観光の基地にして、せつから夏の山遊びを。【六甲山牧場】では乗馬や、子牛のミルクやりなど動物と触れ合う体験でほっこり。【六甲山牧場】☎078-891-0280 午前9時～午後5時(延長あり) 入場は大人500円、小・中学生200円 無休(11～3月は火曜(祝日の場合翌日)休)

緑の、
くつろぎ宿。

山のオーベルジュは眺めもごちそう。



標高約700mの場所にあるジャグジーから眺める神戸の夜景は絶品。宿泊者限定の、ぜいたくなひととき(水着着用。利用時間は午後3時～午後11時)。



客室はツインがメインになり、31室用意(うち1室のみ和室)。部屋からは摩耶の山々が望める。

ホテル・ド・摩耶 灘区

眼下には山々が広がり、澄んだ空気は深呼吸したくなるほど清々しい。そんな摩耶の自然美と素材を生かしたイタリアンで身も心も癒やしてくれるオーベルジュは国民宿舎でもあるため、お値打ちに利用できる。「読書したり周辺を散策したり、ホテルに滞在する時間を楽しみに来られるお客様が多いですよ」と支配人の毛利弘一さん。街中ではなかなか味わえない、五感が満足する時間を楽しみたい。



陽光が降り注ぐレストランでは、旬の食材を使った野菜たっぷりのイタリアンを提供。この日のディナーは、タイラギ貝とアスパラガスの自家製手打ち麺タリアテッレや、真鯛とタケノコのグリルなどが登場。レストランだけの利用も可(午前11時30分～午後2時)で、ランチ1,782円から、ディナーは4,514円から。ともに税込み。



▷神戸市灘区摩耶山町2-8
☎078-862-0008
<http://www.hotel-de-maya.com/>
チェックイン午後3時/アウト午前11時 1泊2食付き1人10,914円～(税・サ込み) 冬季休館日あり ③30台 道案内/電車→各線三宮駅からバス、摩耶ケーブル下車。まやビューライン(火曜休・夏季無休)に乗り換え星の駅下車、北へ徒歩約7分 車→阪神高速神戸線魚崎出口から国道43号線～県道95号線で表六甲ドライブウェイへ。県道16号線を経て奥摩耶ドライブウェイへ。魚崎出口から北西へ約40分



洲本温泉 淡路インターナショナルホテル ザ・サンプラザ 洲本市

全室オーシャンビューの客室は海の向こうに紀伊半島が見える絶好のロケーション。昨年、1階に誕生した[麵処舞扇]では、10席のカウンターで天ぷらを主役にしたコースが楽しめる。お昼はフカヒレ、エビ、野菜など6品を揚げたてで。縮めに選べるそばも付いておなかいっぱい！日帰りプランは温泉がセット。海の近くで充実の昼下がりを。



1,800円(税込み)のランチ。天ぷら、前菜、サラダのほか、天ぷらそばなど3種類から選べるおそば、抹茶アイス。1品ずつ揚げてくれる大将・轟さんとのお話も楽しみ。前日までに要予約。



▷ 洲本市小路谷1279-13 ☎0799-23-1212
http://www.the-sunplaza.co.jp/
日帰りプランは[舞扇]の天ぷら1,800円コース(税込み。温泉入浴付き)など 宿泊は1泊2食付き(部屋食)1人15,660円~(税・サ込み、入湯税150円要) 無休 @60台 道案内/電車→JR神戸線舞子駅から高速バス、洲本バスセンター下車。タクシーに乗り換え約10分車→神戸淡路鳴門自動車道洲本ICから国道28号線~県道76号線で東へ約20分



右は、席をゆったり配置した[麵処 舞扇]店内。壁や天井に竹を配し、落ち着いた雰囲気。フロアごとに違うデザイナーが手がけた客室は2009年に全面改装。

日帰りでごちそうと温泉宿。
宿のくつろぎを気軽に味わえる温泉宿の(日帰りプラン)。客室や露天風呂が利用できる。自慢の名物料理をお得に味わえたり、宿泊同様に力を入れるお宿に注目！ランチ処感覚で宿のうれしいもてなしに触れれば、今度は泊まりで、またゆっくりと来なくなる。



野趣あふれる手づくりの洞窟風呂。サウナ効果でお肌がツルツルに。展望露天風呂と男女日替わり。

加古川温泉 みとろ荘 加古川市

見晴らしのよい高台に位置する、加古川市唯一の温泉宿。露天風呂からは辺り一面ののどかな田園風景が眺められ、青空の下で浸かる昼風呂は特に気分爽快。日帰り温泉プランでは、国産牛を淡路瓦で焼く名物瓦焼きをはじめ、明石産の魚介や地元の野菜を使った会席料理を個室で提供。気軽にぜいたくな旅気分を味わえたりピーターも多い。



▷ 加古川市上荘町井ノ口520 ☎079-428-2004
http://www.mitoro.co.jp/mitoroso
昼食(会席)・温泉・個室プラン1人4,320円~(2人以上) 宿泊は1泊2食付き(夜は会席)1人8,920円~ ※いずれも税込み、サービス料別 第2水曜休(1・8・12月は無休) @80台 道案内/電車→JR加古川線厄神駅から送迎バスあり(要予約) 車→加古川バイパス加古川ランプから東播磨道に入り、八幡稲美ランプから北へ約5分



宿泊棟の中庭にはひととき大きな存在を示す2つの築山。[銀閣寺]の築山をイメージしてつくられたもので、芝の山が夏、石の山が冬を表している。建物はコンクリート造り。曲線的なデザインや窓から取り入れた光まで考え抜かれたユニークさ。



フシギな建物に泊まってワクワク。



食事は併設のレストラン[すみれ亭]で。明石産の新鮮な魚介を使った寿司夢膳2,300円(税込み)。宿泊者はおにぎりとおみそ汁の朝食を無料で食べられる。

兵庫県立先端科学技術 支援センター

ひょうごけんりつせんたんかがくぎじゅつしえんセンター 上郡町

科学技術の開発支援を行い、貸し研究室や貸し会議室も整う施設。敷地内には研究員やビジネスマンに向けた宿泊棟があり、一般客も利用が可能。建物は建築家の磯崎新、庭はアメリカ人建築家・ピーター・ウォーカーが担当した斬新なデザイン。日本庭園をイメージさせる中庭や、雪見窓をイメージした回廊など、近代的なデザインに和が調和。まるで未来都市を訪れたかのような感覚を楽しみたい。



▷ 赤穂郡上郡町光都3-1-1 ☎0791-58-1100 http://www.cast.jp
チェックイン午後4時/アウト午前10時 1泊素泊まり1人3,500円~(税込み) 12/28~1/3休 @80台 道案内/電車→JR赤穂線相生駅から神姫バス、県立大理学部下車徒歩約5分車→播磨自動車道播磨新宮ICから県道44号線で西へ約3分

ユニークな、 町と宿。

町あるきも
驚きいっぱい。



センターがあるのは[播磨科学公園都市]。〈豊かな自然環境の中で、21世紀の科学技術の発展を支える研究機関と産業が集まる町〉として約20年前から開発された。有名建築家による建物やオブジェなどが点在するので、建築巡りもお勧め。